

4/29
本報

82歳、「使命」感じ700人分

5月3日の憲法記念日まであとわずかになりました。横浜市港北区の田中正さん(82)は、街頭宣伝を中心に「安倍9条改憲NO!」3000万人署名を集めています。田中さんが集めた署名数は現在までに700人分を超え、ともに取り組む人たちを励ます大きな力になっています。田中さんの署名行動に同行しました。(神奈川・下元悦美)

安倍9条改憲NO!
3000万人
署名

横浜の田中さん

田中さんは、所属する日本共産党大曾根支部の東急線大倉山駅前での定例宣伝や、地域の革新懇などの取

り組みのほか、一人で「生まれ故郷」の川崎駅前へ足を延ばして署名を集めています。中では、田中さんは174歳の体をかがめて署名を呼びかけました。「ご家族の分もよければ」と必ず伝え、1時間で25人分を集めました。「どうしてこんなに集ま

るの」。不思議がる支部の仲間、田中さんは「戦争を体験したのとして、孫たちの未来を考えた時、俺にできることはこれしかなかった」と話しました。1935年生まれの田中さんは、ちょうど10歳のときに終戦を迎えました。父は腕の良い職人として車庫工場で働いていました。しかし、あまりの忙しさに体調を崩して2、3日休んだところ、治安維持法に反し

たとして特高警察に逮捕され、それが元で終戦後間もなく命を落としました。家族の暮らしは厳しく、



署名を訴える田中さん19日、横浜市港北区の東急大倉山駅前

たとして特高警察に逮捕され、それが元で終戦後間もなく命を落としました。家族の暮らしは厳しく、

「白いお米は『銀めし』って呼んでね。めったに食べられなかった」と振り返る田中さん。「戦争は二度と繰り返しちゃいけない」と力を込めます。

公文書改ざん、隠蔽、セクハラ―安倍政権をめぐる問題が次つぎと明るみになり、支持率は急落しています。「7割の人が安倍政権を信じられないと言っている、今がチャンス」と田中さんは意気込みます。

「9条が変えられてしまったら取り返しの付かないことになる。署名を自分に課せられた使命だと思っ

て、頑張りたい」